

## 「肘折温泉の郵便局」のこと

現在、そば処 寿屋の隣にある**肘折郵便局**。

カネヤマ商店前の旧郵便局舎もまだ記憶に残っています。

実は、郵便局の位置は三度変わっているのです。

126年前

肘折に初めて郵便局が出来たのは、明治26年4月1日のこと。

当時、地区惣代を務めた三原佐左衛門氏が**初代局長**となりました。

明治30年の「肘折温泉全図」

にも、大友屋の真向かいに

郵便局があります。

宿屋の一室を

使っていたのでしょね。



当時のつたや金兵衛は、現・旧郵便局舎の場所にありますが

その7年後の明治33年、

二軒隣の村井六助氏が

**二代目局長**となり、

玄関横の一室を郵便部屋として

使用していたようです。

2枚目に続く→



郵便配達員たちが写っています。

1枚目の続き→

明治44年には柿崎善治氏が三代目局長となり、

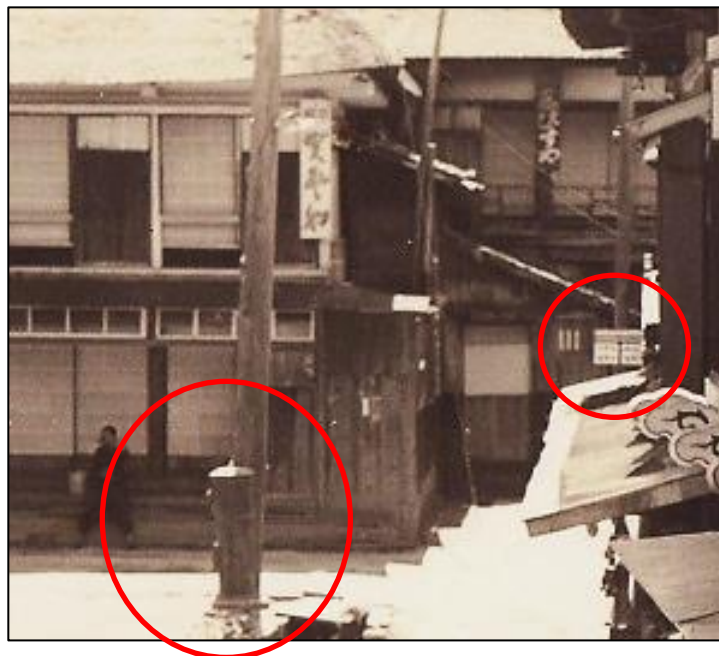
私たちが知る旧郵便局舎の位置で営業を開始しました。

営業を開始した頃、

郵便ポストは局舎前の広場の

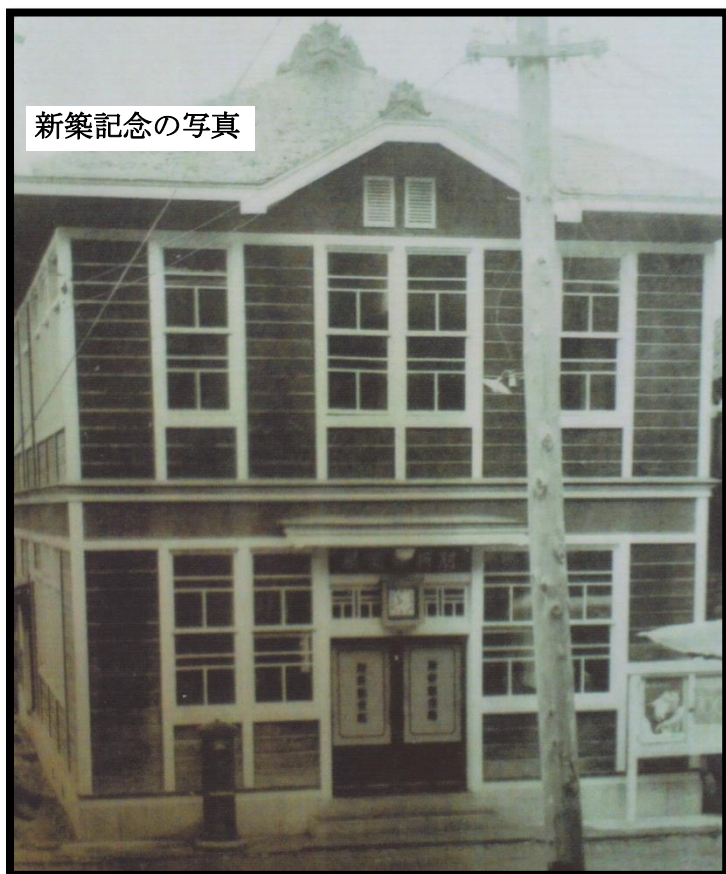
真ん中に立っており、 →

後に肘折に自動車が走るようになったため、局舎の傍らに移動したのでしょう。



そして26年後の昭和12年に、

現在の旧郵便局舎が新築されたのです。



窓の格子を「マーク」で統一し、立派な飾りの付いた茅葺屋根。

モダンなデザインが

モデル局舎と云われました。

以後58年間、肘折のランドマークとして愛され続け、

平成7年、郵便局としての役目を終えました。

肘折歴史研究会